

日中平和友好条約締結 40周年記念シンポジウム

—現代中国学方法論のための日中対話—

日時：2018年3月3日（土） 10:00～18:00（9:30開場）

会場：愛知大学名古屋校舎 講義棟3階 L305教室

使用言語：日本語・中国語（通訳なし） 聴講無料・要申込（下記参照）

主催：愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）

基調講演の部 10:00-12:00 （司会：李春利）

〈開会挨拶・趣旨説明〉 高橋五郎 愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）所長

〈基調講演〉 講演者：朱建榮（東洋学園大学教授）

演題：「激変する日中関係研究のあり方（仮題）」

研究班発表・討論の部 13:00-18:00 （司会：李春利）

〈政治・外交班〉「日中関係研究方法論（仮題）」（座長：劉柏林） 13:00-14:30

（報告1）報告者：張明軍（華東政法大学政治学与公共管理学院長）

演題：「21世紀以来中国政治研究方法の转型」

（報告2）報告者：徐涛（愛知大学ICCS研究員）

演題：「台頭中国と東アジア秩序への多角的アプローチ—外交戦略・地域主義理論・思想—」

予定討論者：劉傑（早稲田大学）、諏訪一幸（静岡県立大学）、鈴木隆（愛知県立大学）、加治宏基（愛知大学）

〈経済・環境班〉「習近平新時代と中国経済研究方法論（仮題）」（座長：高橋五郎） 14:40-16:10

（報告1）報告者：章政（北京大学经济学院教授）

演題：「中国人による日本経済研究の方法と日本人の中国経済研究」

（報告2）報告者：原田忠直（日本福祉大学准教授）

演題：「中国農業問題研究方法について」

予定討論者：李春利（愛知大学）、大澤正治（愛知大学）、田中英式（愛知大学）、

西野真由（愛知県立大学）、安達満靖（中国アジア農業食品問題研究所）、滕媛媛（ICCS研究員）

〈文化・社会班〉「日中人類学研究方法論」（仮題）（座長：唐燕霞） 16:20-17:50

（報告1）報告者：劉正愛（中国社会科学院民族学與人類学研究所教授）

演題：「中国大陆における日本人類学の影響力」

（報告2）報告者：趙蕤（西南民族大学外国語学院副教授）

演題：「日本における中国イ族の神話・民話に関する研究」

予定討論者：周星（愛知大学）、高明潔（愛知大学）、ジョン・ハミルトン（愛知大学）、戸川貴行（ICCS研究員）

〈閉会の挨拶〉 高橋五郎 愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）所長 17:50-18:00



〈申込み/問い合わせ〉

愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）事務局 URL:<http://iccs.aichi-u.ac.jp>

〒453-8777 愛知県名古屋市南中村区平池町4-60-6 TEL:052-564-6120

申込方法：氏名、所属、電話番号、Emailアドレスを記入の上、Emailでお申込みください。

申込み先：iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp

